

# 令和2年度 滝沢地域社会アンケート調査 自由意見集計表

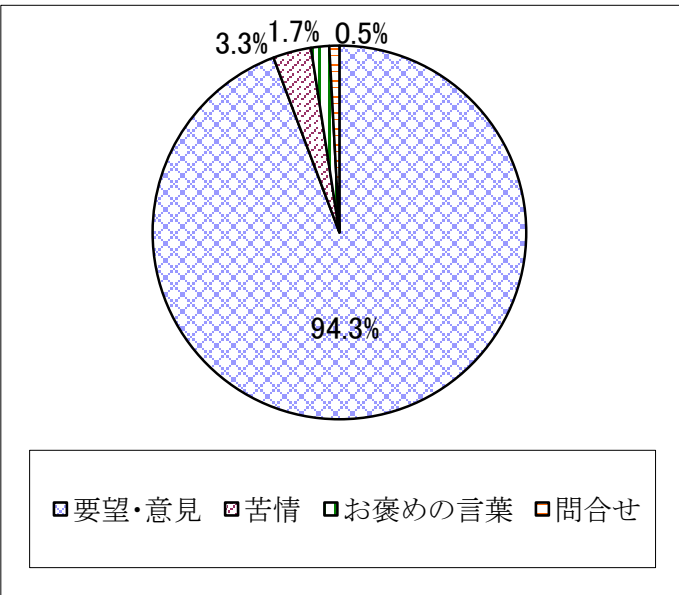
## ■自由意見記載票数

	件数	前年度	比較	
記載者数	471	382	89	123%
件数	574	582	-8	99%

※一帳票で複数の意見を記載する場合がありますため、回答者数と件数は一致しません。

## ■種類区分

名称	件数	前年度	比較
要望・意見	542	561	-19
苦情	19	14	5
お褒めの言葉	9	4	5
問合せ	5	3	2



## ■所管区分

名称	件数	前年度	比較
地域づくり推進課	51	43	8
防災防犯課	23	44	-21
環境課	23	23	0
市民課	0	1	-1
東部出張所・葉の木沢山活動センター	0	0	0
地域福祉課	8	20	-12
生活福祉課	5	4	1
児童福祉課	39	34	5
高齢者支援課	20	21	-1
地域包括支援センター	12	9	3
健康推進課	16	18	-2
健康づくり政策課	26	1	25
保険年金課	8	23	-15
観光物産課	15	11	4
企業振興課	37	31	6
農林課	8	9	-1
都市政策課	69	77	-8
道路課	64	55	9
河川課	3	3	0
水道総務課	2	3	-1
水道整備課	3	3	0
下水道課	6	9	-3
教育総務課	2	6	-4
学校教育指導課	3	13	-10
学校給食センター	0	1	-1
文化振興課・埋蔵文化財センター・図書館	3	8	-5
生涯学習スポーツ課	3	17	-14
総務課	11	5	6
企画政策課	107	73	34
情報システム課	0	0	0
財務課	3	8	-5
税務課	5	6	-1
収納課	0	0	0
会計課	0	0	0
議会事務局	0	20	-20
監査委員事務局	0	0	0
農業委員会事務局	0	0	0
選挙管理委員会事務局	0	1	-1

## ■内容

名称	件数	前年度	比較
地域・交流	40	34	6
防災	4	13	-9
防災行政無線	8	9	-1
防犯・街路灯・交通安全	12	22	-10
環境（住環境）	17	11	6
ごみ	7	10	-3
医療・医療費	29	23	6
子育て	34	35	-1
高齢者福祉	9	5	4
健康・検診など	40	36	4
その他福祉	15	28	-13
産業振興（全体的）	2	3	-1
雇用・企業誘致	34	28	6
観光	10	6	4
特産品	1	3	-2
商業	6	3	3
農業	5	8	-3
都市計画・土地利用	21	21	0
公園	12	13	-1
道路（整備、維持管理など）	30	27	3
歩道	9	5	4
除雪	25	23	2
交通網	43	38	5
河川	3	3	0
下水・上水	9	15	-6
教育（小・中）	4	18	-14
芸術・文化・スポーツ	6	16	-10
職員・市役所	12	10	2
総合計画関連	6	38	-32
市制	4	2	2
広聴・広報・HP	17	4	13
アンケート	13	8	5
財政	4	4	0
公共施設	10	31	-21
料金・手数料	3	1	2
税金	5	7	-2
議会	0	1	-1
その他	66	20	46

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	市民環境部	課 名	地域づくり推進課
件 名	ビッググループ滝沢の管理運営について		
状 況 等	<p>ビッググループ滝沢の取り組みに対してのお褒めの言葉をいただき、大変ありがとうございます。今年度につきましては、感染症拡大防止のために、休館やイベント中止などがありました。ビッググループ滝沢はおかげさまで年間50万人が来館する施設となっております。</p> <p>これは、指定管理者が自主的に行う事業と民間事業者が行う事業が、年間通じて500本以上行われていることが大きな要因と考えています。</p> <p>特に盆祭りやハロウィンなどは毎年来場者が増え滝沢市に定着しつつあります。また、昨年行ったキッズアニメイベントなど、これまで、東北では行われてこなかったイベントなどは、継続化に対する期待が大きいイベントです。</p> <p>市、指定管理者ともに様々な企画を行っておりますが、ビッググループ滝沢は市民の皆さんの「～をやりたい！」「やってほしい！」という声を大切にしております。これまで実施してきた事業の多くは、利用していただいている皆様の声をもとに実現してきたものであり、高評価をいただいております。</p> <p>レストランも同様に皆さんの声により、麺類やスイーツの追加、開発をしてきましたので、今後も皆さんの要望をお聞かせいただければと思います。</p> <p>今年度は新たに駐輪場の整備を行うなど、少しずつではありますが、皆さまにとって利用しやすい場所として継続的な整備、運営を推進して参ります。</p>		
件 名	地域の交流について		
状 況 等	<p>地域の交流は、日常生活をする上で人と人とのつながりを広げるために必要なものであり、地域の交流によりみんなが幸せに暮らすための地域づくりが実現するものと考えています。一方で、その活動については高齢化や負担増という状況があることも認識しているところです。</p> <p>また、世代や考え方が違う様々な人と交流することにより、その接し方に苦勞し、悩まれている方も多くおられると思います。</p> <p>様々な課題がある中ではありますが、「地域づくり活動は自らが考え、行動することから始まる」という考えを踏まえ、市内の多様な人と人とのつながりを活かし、市民の想いを地域づくりへ反映させる「市民主体」の地域づくりの実現が大切であると考えます。</p>		
件 名	地域づくり活動及び自治会活動のあり方について		
状 況 等	<p>地域づくり活動及び自治会活動は、地域コミュニティ形成の基礎となるのもであり、地域が主体となり様々な活動に取り組んでいただいています。地域ごとの特殊性により全ての地域が同じ取り組みをしているものではありませんが、それぞれの取り組みは、滝沢市がめざす「幸福感を育む環境づくり」の実現に向けた行動であり、市といたしましても、よりよい地域づくりの推進のための支援をしております。</p> <p>市民の皆様においては、自治会活動などを負担に感じることもあると思いますが、可能な範囲で少しずつでもご参加いただき、誰でも参加しやすい雰囲気をみんなで作りに上げていくことが大切であると考えます。</p>		
件 名	地域の公民館や集会所のあり方について		
状 況 等	<p>集会所の新設については、集会所を利用する地域の皆さんにもご負担いただき、市の補助金制度等を活用して行うこととなりますが、用地の問題や市の予算の関係もありますので、現時点では、すぐに対応できないのが現状です。集会所は、地域活動の拠点であり、重要な施設であると考えますが、集会所の新設は、市内全域において、地域における課題の整理や地域の合意形成の下の資金状況や市の予算状況を考慮しながら、優先順位をつけての対応となります。</p>		

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	市民環境部	課 名	防災防犯課
件 名	夜間の火災発生時における防災行政無線の放送について		
状 況 等	<p>放送に関しては防災行政無線を各地域に設置しておりますが、これは地域の方々と同じ情報の内容を一度に短時間で伝達できる特性があり、非常時・災害時における災害等情報の伝達手段の確保を主な目的として整備しております。</p> <p>災害の一つである火災時においても、この目的に沿い、その特性を生かして、滝沢市内の消防団に対する火災出動の要請及び出動分団以外への火災発生の伝達並びに延焼拡大等に備えた滝沢市民等への火災発生の周知等を目的とし、市民等の生命や財産を守るため、緊急時であることから、昼夜を問わず音量を高くして放送しております。</p> <p>火災予防に対する啓発、さらには、火災から個人広くは皆様の生命や財産を守ることに関する放送であることに鑑み、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、機器を起動させてから放送するまでの間の雑音につきましては、最低限となるよう努めてまいります。</p>		
件 名	防災行政無線について		
状 況 等	<p>設置場所について、スピーカは市内約140カ所に設置しております。設置にあたり、事前調査の上現在の場所に設置しておりますが、スピーカとの高低差等により聞こえにくい場所があることが現状でございます。スピーカの方向調整等を行うことにより、聞こえるようになることもございますので、防災防犯課までご連絡いただければと思います。</p> <p>防災行政無線放送について、雨や風が強い日には放送がかき消されてしまったり、気密性が高い住宅の屋内では放送が聞こえないことがあります。そのため、市HP、いわてモバイルメール及び滝沢NAVIでも無線放送と同じ内容を確認できるようにしておりますので、登録をお願いします。</p>		
件 名	防災について		
状 況 等	<p>災害時の避難所物資につきましては、現在段ボールベッド、パーテーションを逐次、導入、備蓄しております。</p> <p>特に感染症流行下での避難所生活、プライバシー保護等に考慮した物品を取り揃え、少しでも安心感のある避難所生活ができるように努力しております。</p> <p>また各自主防災組織で行われている防災訓練等におきましては、それら避難所物資の取扱訓練を実施し、有事に備えているところであります。</p>		
件 名	防犯・交通安全について		
状 況 等	<p>防犯・交通安全につきましては、日頃から少年補導員や青色回転灯装着車両等による市内の見回り活動や、交通指導隊による街頭指導を実施しております。また、各関係団体及び警察署、駐在所等と連携し、防犯・交通安全に関わる情報を共有し、広報等を通して住民の皆様へ情報提供を行っております。</p> <p>また、市では夜間における歩行者の安全確保のために防犯灯を設置しておりますが、設置要望につきましては毎年各自治会より提出していただいております。市では各要望箇所の状況に応じて、優先順位順に設置を進めておりますので、設置要望がございましたらまずお住まいの自治会へご相談いただきますようお願いいたします。</p>		

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	市民環境部	課 名	環境課
-----	-------	-----	-----

件 名	良好な環境の保全について
状 況 等	引き続き市内各種環境調査(河川水質調査等)を実施し、本市の環境の保全の実態把握等に努めるとともに、環境保全団体のたきざわ環境パートナー会議と連携・協働し、滝沢市環境基本条例の基本理念である本市の良好な環境の保全に努めてまいります。

件 名	生活環境の悪化等について
状 況 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「野焼き、空き地等の草木の繁茂、悪臭などによる生活環境の悪化」に関する相談が寄せられた場合は、現地確認等を実施するとともに、原因者へ相談内容をお伝えし、対応等をお願いしておりますので、ご相談ください。</li> <li>・「飼い犬等のふんの放置」に関する相談が寄せられた場合は、犬のふんの放置禁止等の啓発看板を自治会へ配付し、常時啓発に努めているほか、年1回、1歳未満の犬の所有者を対象とした犬の飼い方教室を実施し、犬の所有者のモラルの向上に努めております。</li> <li>・「生活環境の美化の取組」については、引き続き市民、自治会、事業者等のみなさまのご理解及びご協力をいただきながら、地域清掃活動の取組を推進するとともに、本市の生活環境の美化に努めてまいります。</li> </ul>

件 名	ごみ分別、不法投棄等について
状 況 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ごみの分別、収集・運搬及び処分」については、滝沢・雫石環境組合と連携し、本市のごみ処理を行っておりますが、ごみ分別については、ごみ減量・資源化を進めるため検討していく必要があると考えています。また、現在は、スーパー等の店頭回収、集団資源回収、小型家電回収等の積極的利用をお願いしておりますので、ごみ減量・資源化の推進にご理解及びご協力をお願いいたします。</li> <li>・「ごみ集積所の設置、管理、利用世帯等」については、管理主体である地元自治会が取り決めております。ごみ集積所の関係でお困りの場合は、直接地元自治会又は市へご相談ください。</li> <li>・「ごみ収集カレンダー」については、滝沢・雫石環境組合が作成し、全戸配布しておりますが、引き続き滝沢・雫石環境組合と連携し、分かりやすく見やすい掲載内容となるよう努めてまいります。</li> <li>・「不法投棄」に関する相談が寄せられた場合は、現地確認等を実施するとともに、原因者へ相談内容をお伝えし、対応等をお願いしておりますので、ご相談ください。また、滝沢・雫石環境組合でも不法投棄巡視員による巡視活動を行っておりますので、情報をお寄せください。</li> </ul>

件 名	ラジオメディカルセンター周辺環境の監視等について
状 況 等	本市及び日本アイトープ協会で締結した公害防止協定に基づき、ラジオメディカルセンター周辺環境の放射能測定を実施するとともに、ラジオメディカルセンター放射線監視委員会における放射能測定結果の検討評価、周辺環境の監視等を継続してまいります。

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	地域福祉課
件 名	地域内の見守りについて		
状 況 等	<p>地域で見守りが必要な方については、民生委員が自宅を訪問したり、自治会や自主防災組織の方など地域支援者が連携して対応している状況です。また、市内の市民宅を訪問する業務を行っている事業所などと協定を締結し、異変発見などより迅速な対応が可能となる体制作りに努めています。</p>		
件 名	障がい者への支援について		
状 況 等	<p>市民の意向を把握し、必要な方に必要な障がい福祉サービスが提供できる体制整備に取り組み、更なる福祉の充実に努めてまいります。あわせて、市と関係機関と連携しながら相談支援体制の充実強化を図り、誰もが地域で安心して暮らせるよう支援してまいります。</p> <p>また、福祉の充実を図るため、市政施行にあわせて福祉事務所を開設しています。</p> <p>障がい者の入所施設やグループホームは、社会福祉法人等が施設整備を行い運営しており、事業者と連携しながら施設の在り方を協議してまいります。また、地域生活を希望する方も増えており、地域での生活が可能となるよう地域移行についても事業者と連携しながら、適正な支援ができるよう検討してまいります。</p>		

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	生活福祉課
-----	-------	-----	-------

件 名	引きこもり等に対する支援について
状 況 等	<p>引きこもりも含め、生活に困窮している方の相談は、生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業として滝沢市社会福祉協議会に委託し、実施しております。</p> <p>引きこもりについては、本人や家族等に対するアウトリーチ（訪問型支援）による個別的支援を中心としてその問題解決が図られるように実施しております。</p> <p>ただし、行政機関で把握ができない、相談に来ないような方について、どのような支援をしていくかについては、情報収集に努めつつ支援方法を検討してまいります。</p>

件 名	生活困窮者の相談や支援について
状 況 等	<p>生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業にて生活に困窮している方からの相談を滝沢市社会福祉協議会で受付しております。</p> <p>また、生活保護法に基づく生活保護の相談を生活福祉課で受付しております。</p> <p>相談はどなたでもできるものであり、その内容に応じて双方の窓口や関係部署を含めて常に連携をしつつ必要となる支援を実施しております。</p> <p>なお、生活に困窮している方の緊急一時的支援として食料を配布するフードバンクについても相談受付をしている滝沢市社会福祉協議会と連携をして必要となる方への支援を実施してまいります。</p>

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	児童福祉課
件 名	子育て支援、子育て環境の充実について		
状 況 等	<p>核家族化の進行、就労環境の変化等、子どもと家庭を取り巻く環境の変化により、子育てを社会全体で支援していく必要性が認識されるようになり、国においては、「子ども・子育て関連3法」を制定し、平成27年度に「子ども・子育て支援新制度」をスタートさせました。市においても、「滝沢市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、安心して産み育て、働くことができる環境の整備に取り組んでいるところです。現在子育て支援策は、この計画に基づき、充実に努めてまいります。</p>		
件 名	保育所入所、待機児童について		
状 況 等	<p>平成27年度にスタートした「子ども・子育て支援新制度」に併せて、「滝沢市子ども子育て支援事業計画」を策定し、計画推進に取り組んでいるところであります。共働き世帯の増加等により保育のニーズが増加していることから、今後も施設及び保育入所枠の拡充と保育士確保の支援や幼児教育・保育の無償化等の事業などに取り組み、関係機関と協力しながら待機児童解消に向けて努めてまいります。</p>		
件 名	高校生以降の手当の充実		
状 況 等	<p>児童手当法に基づき、15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童(中学校終了前の児童)について「児童手当」を支給しているところですが、それ以降の児童に対する手当等の検討は現段階ではございません。</p>		

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

<b>部 名</b>	健康福祉部	<b>課 名</b>	高齢者支援課
<b>件 名</b>	高齢者が集う場について		
<b>状 況 等</b>	<p>睦大学では、趣味の教室や教養講座を開催しており、高齢者の方々が集い学ぶ場を設けております。自分の趣味や興味のある活動を通して交流ができ、また外出の機会が増えることで元気に暮らしていくことにもつながりますのでご参加ください。</p>		
<b>件 名</b>	介護保険制度や高齢者施設の整備等について		
<b>状 況 等</b>	<p>介護保険は、介護保険料を皆様から納めていただき、介護が必要となっても安心して介護サービスが受けられるよう社会全体で支え合う仕組みです。介護保険料はその方の負担能力に応じた所得段階別の金額となっております。この制度の仕組みや利用の仕方について、より分かりやすく周知できるよう取り組んでまいります。</p> <p>また、特別養護老人ホームなどの入所施設の整備は、介護保険サービス利用量の見込み等を見据えて検討し決定することとされており、3年毎に見直すこととされている介護保険事業計画で検討してまいります。</p>		
<b>件 名</b>	福祉バス		
<b>状 況 等</b>	<p>市では、すべての市民が利用することができる「福祉バス」を運行しておりますが、睦大学の趣味の教室や講座にあわせた運行経路・運行時間となっております。民間のバス事業との関係から路線等の競争を避ける必要もあるため利便性の向上は難しい状況ですが、そのなかで市全体として公共交通のあり方を検討してまいります。</p>		



## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	地域包括支援センター
件 名	老後安心して暮らせる対策について		
状 況 等	滝沢市も他自治体同様に団塊の世代が75歳以上となる2025年、団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年を見据え、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、また、生きがいのある自分らしい暮らしを続けることができるよう、関係機関と連携を図りながら地域包括ケアシステムの深化・推進にむけて取り組んでまいります。		
件 名	一人暮らし高齢者が安心して暮らせる対策について		
状 況 等	地域包括支援センターでは、65歳以上の高齢者世帯や独居高齢者世帯の方々に対しての訪問や、相談窓口、各種事業において、健康状態や生活状況の把握・相談等を行っております。必要に応じて専門的なサービス等につなげ、また、自治会や民生・児童委員、老人クラブなど、地域の関係者の方々と連携して見守り支援を行うなど、1人暮らしであっても安心して暮らすことができるよう取り組んでおります。		
件 名	高齢者の交流の場の推進について		
状 況 等	団塊の世代が75歳を迎える2025年を目前に、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、身近に地域とつながる場所があることが大切と考えます。現在、高齢者が身近で集まって交流しながら介護予防につながる場として、いきいきサロン(市内31か所)やいきいき百歳体操の開催などがあります。今年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、開催が難しい時期もありましたが、感染症対策を行いながら開催できるよう、今後も支援してまいります。		

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	健康推進課
-----	-------	-----	-------

件 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザの予防接種、高齢者だけでなく、小中学生まで無料で受けられるようにしてほしい。</li> <li>・子どもの医療費、インフルエンザの補助金を増やしてほしい。盛岡市に比べたら最低。小中学生のインフルエンザ助成金はなぜないのか。</li> <li>・ワクチンの値下げ。</li> </ul>
状 況 等	<p>インフルエンザ予防接種は、65歳以上の人と生後6か月から小学校就学前の乳幼児に対し、接種費用の一部を公費負担しております。</p> <p>65歳以上の方は予防接種法により、市町村に実施の責任がある、「定期接種」になります。それ以外の方については、おたふくかぜなどの予防接種と同様に、希望者が各自で受ける「任意接種」となっております。</p> <p>隣接する市と比較して子育て世帯への支援が少なく、助成対象年齢拡大のご意見につきましては、安心して子育てができる市を目指して今後検討してまいりたいと考えておりますので、ご了承くださいようお願い申し上げます。</p>

件 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急夜間対応してくれる病院が多分近くはない。いざというとき不便。妊婦さんのために産婦人科も近くにあったらと思う。市民から意見を聞いて「あったらいいな」といういろいろなものをできる範囲で実現していただけると幸福感がアップすると思います。</li> </ul>
状 況 等	<p>滝沢市の救急医療については、休日の日中の比較的軽症の場合は、岩手西北医師会の協力により休日救急当番医制事業を、また、夜間の比較的重症の場合は、盛岡市医師会の協力により盛岡広域市町による盛岡地区二次救急医療事業を実施しています。県都として医療資源が豊かな盛岡市へのアクセスも良く、住民の方々は、滝沢市内を始め、盛岡市内の医療機関から病院を選択し受診できる環境にあり、他市町村と比較して、恵まれた医療環境にあると認識しています。</p> <p>今後も市民の皆さんが安心して生活できるよう医師会の協力を頂きながら、各事業を継続して参りたいと考えています。</p>

件 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関の整備。</li> <li>・滝沢には総合病院にもう少し力を入れてほしい。例えば滝沢中央病院とか皮膚科は水曜・金曜だけで予約制とか少し不自由を感じています。</li> <li>・病院の充実(今の時代だから)もし、滝沢市内でコロナのクラスターが発生したら、市役所でちゃんと対応できるかが心配。(盛岡に近いのだから)</li> <li>・小児科が少ない。</li> <li>・医療機関を充実させてほしい。歯医者ばかりが多い。</li> </ul>
状 況 等	<p>滝沢市内には、2つの病院と17の診療所、19の歯科診療所があります。診療科も内科、外科、整形外科、脳神経外科・内科、皮膚科、耳鼻科、眼科、小児科と診療科目も多岐にわたっています。また、県都として医療資源が豊かな盛岡市へのアクセスも良く、住民の方々は、滝沢市内を始め、盛岡市内の医療機関から病院を選択し受診できる環境にあり、他市町村と比較して、恵まれた医療環境にあると認識しています。</p> <p>救急医療についても、休日の日中の比較的軽症の場合は、岩手西北医師会の協力により休日救急当番医制事業を、また、夜間の比較的重症の場合は、盛岡市医師会の協力により盛岡広域市町による盛岡地区二次救急医療事業を実施しています。</p> <p>今後も市民の皆さんが安心して生活できるよう医師会の協力を頂きながら、各事業を継続して参りたいと考えていますが、市として病院を設置することは、現在、考えていないところです。</p>

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	健康推進課
件 名	・医療の充実。		
状 況 等	<p>滝沢市内には、2つの病院と17の診療所、19の歯科診療所があります。診療科も内科、外科、整形外科、脳神経外科・内科、皮膚科、耳鼻科、眼科、小児科と診療科目も多岐にわたっています。また、県都として医療資源が豊かな盛岡市へのアクセスも良く、住民の方々は、滝沢市内を始め、盛岡市内の医療機関から病院を選択し受診できる環境にあり、他市町村と比較して、恵まれた医療環境にあると認識しています。</p> <p>救急医療についても、休日の日中の比較的軽症の場合は、岩手西北医師会の協力により休日救急当番医制事業を、また、夜間の比較的重症の場合は、盛岡市医師会の協力により盛岡広域市町による盛岡地区二次救急医療事業を実施しています。</p> <p>今後も市民の皆さんが安心して生活できるよう医師会の協力を頂きながら、各事業を継続して参りたいと考えていますが、市として病院を設置することは、現在、考えていないところです。</p>		

件 名	<p>・検診体制の整備</p> <p>・人口が増えてきたためなのか、検診の時待ち時間が長くなってきたように思います。日程を少し増やせたら便利ですね。</p>		
状 況 等	<p>滝沢市では、「がん検診実施のための指針(厚生労働省健康局通知別添)」に基づき、検診の有効性が確立されている胃がん・大腸がん・肺がん・子宮頸がん・乳がん検診を実施しているほか、前立腺がん検診や健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業として、骨粗しょう症予防検診、肝炎ウイルス検査を実施しております。</p> <p>今後も、最新の知見である国の指針に基づき、がん検診の普及啓発に努めるとともに、有効性のあるがん検診の実施に向けて取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>また、各がん検診の受診者数は横ばい傾向であり、集団検診の日程は、検査機関と調整する必要があります。今後も市民が検診を受診しやすい環境づくりを考え実施していきたいと思っております。</p>		

件 名	<p>・県内の転勤で転々としてきたが、ほかの市町村は若者向けの検診(国保以外の人)の助成があり、成人検診を受けられたり、子供の医療費が無料だったり、住みやすかった。滝沢市も若い子育て世帯に優しいまちになってほしい。</p>		
状 況 等	<p>子育て世代の支援については、総合的に事業を検討していきたいと思っております。</p> <p>今後も市民の皆さんが安心して生活できるよう医師会の協力を頂きながら、各事業を継続して参りたいと考えています。</p>		

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	健康づくり政策課
件 名	健康づくりについて		
状 況 等	<p>市民の方々の健康づくりへの取り組みに対し、正しい健康情報を提供することのほか、機会や場を設置すること、また環境の整備も検討しながら、より多くの方々に健康づくりへ参加いただけるよう取り組んでまいります。</p>		
件 名	学校開放での体育館の無料化継続と、宣伝について		
状 況 等	<p>現在のところ、学校施設開放事業において体育館を有料とする予定はありません。スポーツやレクリエーション活動の場として積極的にご利用ください。 (生涯学習スポーツ課と調整済み)</p>		
件 名	高齢者が参加する運動機会について		
状 況 等	<p>市では、新たに健幸ウォーキング事業やノルディックウォーキング教室の実施を予定しています。その他、令和2年6月に全戸配布した、教育委員会発行の『「生きがい」と「やりがい」の学びガイド』では、スポーツに関するサークルなどをご紹介しますのでご利用ください。 (生涯学習スポーツ課と調整済み)</p>		

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	保険年金課
件 名	子ども医療費給付事業について		
状 況 等	<p>・所得制限の撤廃や高校卒業までの医療費給付拡大については、その必要性は感じておりますが、事業の優先順位と財源確保のバランスを考えながら、今後も引き続き検討してまいります。</p> <p>・子ども医療費助成給付事業は、重要な少子化対策のひとつであり、給付対象者や給付額が統一された基準で実施されることが望ましいと考えており、市では、国には全国统一の新たな制度を設けるよう要望するとともに、県には県基準給付対象者の拡大を要望しており、今後も引き続き要望してまいります。</p>		

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	経済産業部	課 名	観光物産課
-----	-------	-----	-------

件 名	祭りやイベントなど気軽に集える催しがあればいいと思います。最近はやりが同じなので新しいイベントを希望します。
状況等	市観光協会等と連携しながら、企画、検討してまいります。

件 名	チャグチャグ馬コのイベントを多く開催すること。
状況等	チャグチャグ馬コは、毎年6月第2土曜日に開催している「行進行事」がメインイベントとなっておりますが、その他は他市町村のイベント等に出演させていただいております。市内地域のお祭り等にも派遣できますので、ご依頼をお待ちしております。ただし、チャグチャグ馬コ維持保存のために出演料をいただいておりますのでご協力のほどよろしく申し上げます。

件 名	観光名所を作り、観光客をたくさん呼ぶこと。
状況等	観光名所は、環境を整備し外資(入館料など)をもらえる施設と考えます。これらを整備するためには、物も必要ですが人も必要になります。それらを含めた環境が整えられる観光名所につきまして、今後調査してまいりたいと考えております。

件 名	観光地やレジャー、少なすぎる。もっと楽しめる施設を作してほしい。
状況等	観光地(レジャー、余暇を過ごす施設)は、市町村で維持することは難しく、ほとんどが民間企業を誘致し運営いただいていると認識しております。企業は収益性を踏まえ事業を運営しており、維持費等の経費を利用料等で賄っていると認識しております。市では、民間事業者が、観光事業の運営に進出するような魅力づくりと情報発信について調査検討してまいりたいと考えております。

件 名	滝沢市の朝市を大きくやしてほしい。(例:神子田の朝市のようなもの)
状況等	神子田の朝市は、歴史が古く開催場所を固定し長年続けておられます。農産物の販売について、滝沢市内の農業者は兼業がほとんどであり、朝市の出店にも課題があると認識しています。現在は、市内事業者を中心とした朝市が、春から秋にかけて市内複数地区で開催されておりますので、開催場所の検討や開催方法について運営組織と協議してまいりたいと考えております。

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	経済産業部	課 名	観光物産課
件 名	今年コロナ禍で行事等がほとんど中止となり、ほとんど参加できず、常年とは違いました。		
状 況 等	新型コロナウイルス感染症につきましては、日本全国で猛威を振るっており、不特定多数が参加するイベント時には感染予防対策が必要となっております。今後の感染状況を鑑みて、行事の開催や開催方法について検討してまいります。		
件 名	雪国だから、10歳以下の子供たちがそりあそびやミニスキーをできる場所がほしい。30代40代の人々、その子供たちが滝沢市内で休みの日を過ごせる場所がほしい。		
状 況 等	観光地(レジャー、余暇を過ごす施設)は、市町村で維持することは難しく、ほとんどが民間企業を誘致し運営いただいていると認識しております。企業は収益性を踏まえ事業を運営しており、維持費等の経費を利用料等で賄っていると認識しております。市では、民間事業者が、観光事業の運営に進出するような魅力づくりと情報発信について調査検討してまいりたいと考えております。		
件 名	観光、イベント等で収入を増やし、税収を上げる努力。		
状 況 等	市内にある観光資源を活用し、収入をあげるような観光産業育成していく事は重要な視点と認識しております。今後、頂いたご意見を参考にし、内容につきまして、今後調査検討してまいります。		
件 名	県内で一番大きな規模の花火大会など、滝沢市の認知度を上げ、温泉宿泊施設等を誘致し、市県外からの観光客を増やし、市の財政に潤いをもたらせる企画と実行。(温泉に行くのは盛岡市か雫石町になっている)		
状 況 等	観光地(レジャー、余暇を過ごす施設)は、市町村で維持することは難しく、ほとんどが民間企業を誘致し運営いただいていると認識しております。企業は収益性を踏まえ事業を運営しており、維持費等の経費を利用料等で賄っていると認識しております。市では、民間事業者が、温泉施設を含め観光事業の運営に進出するような魅力づくりと情報発信について調査検討してまいりたいと考えております。		
件 名	年を通して、産直イベント、県産品のイベントを行う。(告知を早めに)		
状 況 等	現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント実施については自粛している状況です。今後、感染状況を見てイベントの開催について検討してまいります。市が主催するイベントにつきましては、開催告知等については、市のHPや広報を通じて早めに対応できるよう努力してまいります。		

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	経済産業部	課 名	観光物産課
件 名	自然をめぐるイベント(山登り等)を平日、土日に平均的に行う。(有料参加)		
状 況 等	<p>網張ビジターセンターや滝沢市山岳協会のご協力をいただき、年数回ほど鞍掛山周辺で自然体験イベントを開催しております。市の広報等でも周知させていただいておりましたので、ご確認いただきたくお願いします。</p>		
件 名	<p>コロナ禍ではあるが、小規模でいいのでお祭り等の行事を行うことができればいいと思う。食のイベントを増やしてほしい 等</p>		
状 況 等	<p>新型コロナウイルス感染症により、大小関わらず不特定多数が参加するイベント時には感染予防対策が必要となっております。今後の感染状況を鑑みて、行事の開催や開催方法について検討してまいります。</p>		
件 名	滝沢市の食材の安全性は全国に誇れるので、守っていく、伝えていく事だと思う		
状 況 等	<p>滝沢市の農産物や市内産品の多くは、全国的にも魅力のある産物が数多くあると認識しております。現在、物産振興と連携し、市産品を全国にPRするため「ふるさと納税」の返礼品に市産品を活用している他、市観光協会と連携し市産品のPR事業を実施しております。引き続き、全国に誇れる市産品について、市外へのPRを実施していく事で、市産品の価値を市民が再認識していただき、市産品を守り伝えていくように取り組みを実施していきたいと考えております。</p>		



## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	経済産業部	課 名	企業振興課
件 名	企業誘致について		
状 況 等	<p>本市の企業誘致につきましては、土地利用に関する法令による規制から、新たに大規模な工場等を誘致することは難しい状況にあります。しかしながら、近年のICT産業の成長により、広い土地を必要としないIT企業の誘致につきましては、滝沢市IPUイノベーションセンターを中心に、岩手県、岩手県立大学及び滝沢市で連携した誘致活動を進めています。このような取り組みの成果として、岩手県立大学前にIT企業の集積をめざし整備された滝沢市IPUイノベーションパークは、平成30年度には1社、令和元年度には2社、令和2年度には1社の立地又は区画購入があり、現在も新たな立地の動きもある中で、今後も滝沢市の特色を活かした集積をめざし、企業誘致を進めて参ります。</p>		
件 名	雇用の確保について		
状 況 等	<p>雇用の確保につきましては、岩手県立大学前に市が整備した滝沢市IPUイノベーションパークへの企業誘致を進め、新たな雇用の創出に努力する他、既存の市内事業所とIT企業とのコラボレーションを進めることで、市内事業者の生産性の向上を図り、持続的な経営を維持することで、安定的な雇用の確保をめざします。また、大学生等に市内事業所を知っていただくため、市内事業所を巡るバスツアーなどについても注力して参ります。</p>		
件 名	商業について		
状 況 等	<p>大規模小売店舗の多くは盛岡市内にあり、商圈距離内にある滝沢市内には、数多く立地されていない状況です。また、専用スーパー等の食料品、衣類等の小売店につきましては、商圈人口等の条件により、地域によっては、大規模な民間事業者の進出には至らない状況となっています。高齢化が進み、日用品の買い物の課題も出てきており、今後は自治会、滝沢市商工会や各商工振興会などの関係機関と協議しながら、課題の把握に努め、対応を検討して参りたいと考えております。</p>		
件 名	産業振興について		
状 況 等	<p>産業の発展が地域経済の活性化に果たす役割は重要であり、市の産業が着実に発展していくためには、行政のみならず、事業者及び産業経済団体並びに市民が協働し、それぞれの役割について共通の認識を持ち、産業振興が地域振興につながることを意識して取り組んでいくことが重要です。市の産業振興に関する指針として産業振興条例を制定予定であり、今後も自治会、滝沢市商工会、農協、観光協会などの関係機関とも連携しながら、地域経済の発展に向けて取り組んで参ります。</p>		

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	経済産業部	課 名	農林課
件 名	農業振興と担い手確保について		
状 況 等	<p>農業の振興と後継者の育成については、国・県・市並びに農協等関係機関連携のもと、様々な対策によりその振興と育成に努めているところです。</p> <p>国においては、「担い手への農地集積・集約化等による構造改革の推進」や「強い農林水産業のための基盤づくり」等の方針のもと事業が推進されております。</p> <p>市においても、日本型直接支払制度や新たな農地の貸し借り制度、水田の効率的な活用事業などを基本に、地域農業の支援や次世代の農業担い手の育成、新規就農者の支援を進めており、また認定農業者等中心となる経営体に農地の集約を進め、今後も農業の振興を図って行きたいと考えております。</p>		
件 名	問題解決の相談等について		
状 況 等	<p>窓口では常にご相談をお受けしております。</p> <p>また、農業経営指導マネージャーもおりますので、経営や法人化等につきましても、問題解決に向けて取り組んでいるところであります。</p>		
件 名	ビッグループ滝沢 たきざわキッチン 産直について		
状 況 等	<p>これまでの市内産直施設と違い、入会費や店当番がないことから「気軽に出品できる産直」として生産者の中では位置づけられており、新規就農者や今まで産直出荷をした経験がない生産者のチャレンジを後押し出来る場所でもあります。</p> <p>一方、ラインナップの少なさや品質の低さなどご指摘を受けていることから、市としましては、市内産直との繋がりの強化やセミナー・勉強会の開催、市と共同の事業展開などを通して、お客様や生産者から愛される施設になれるよう、共に築き上げていきます。</p>		

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	都市整備部	課 名	都市政策課
件 名	市内の公共交通について		
状 況 等	<p>市の公共交通については、高齢者、公共交通不便地域の市民、さらには今後増えてくる免許返納者の移動手手段の確保が課題となっております。</p> <p>市では、人口減少、少子高齢化、マイカー依存等の影響により、公共交通、特に路線バスの利用者が減少する中、将来にわたり持続可能で地域にとって望ましい公共交通ネットワークを構築するため、まちづくりと連携した公共交通の基本的な方針と施策体系を示す「滝沢市地域公共交通網形成計画」を平成29年9月に策定いたしました。</p> <p>市では、本計画に定める施策を展開し、地域公共交通の維持・確保に向けた取組を推進するとともに、地域や市民、交通事業者、行政が一体となり、それぞれの地域特性に応じた交通サービスの検討を進めてまいります。</p>		
件 名	市内のバス運行について		
状 況 等	<p>滝沢市は、盛岡市のベッドタウンとして発展してきた経緯があり、盛岡市内への通勤、通学の需要が多いことから、市内のバス路線は盛岡市中心部へのアクセス路線が主であり、市役所周辺への路線をはじめ、市内地域間を結ぶ路線は少ない状況にあります。</p> <p>市内の地域間を結ぶ路線の運行については、交通事業者による新規路線整備や公費による新規運行は、現在のところ難しい状況にあり、公共交通の認知度向上、待合い環境及び乗り継ぎ環境等の改善を推進し、現行の路線バスや鉄道、タクシー等を活用しながら、利用しやすい公共交通網を検討してまいります。</p> <p>また、駅やバス停まで遠いなど、地域によって交通需要が異なることから、地域の皆さんと意見交換しながら、地域や市民、交通事業者、行政が一体となり、それぞれの地域特性に応じた交通サービスの検討を進めてまいります。</p> <p>路線バスは、需要と運行経費のバランスにより維持されておりますが、マイカー依存等による利用者減少、運転手不足等から、年々路線の縮小、廃止を余儀なくされている状況にあります。赤字路線でも要件により、国・県・市が分担して補助を行い、運行を維持している路線もあります。また、過去に菓子地域の循環バスや、菓子地区から市役所周辺までの民間路線バスを運行しましたが、利用者が少なく廃止に至った経緯もあり、地域生活の足を守るという観点から、今後とも公共交通の積極的なご利用をお願いいたします。</p>		
件 名	中心市街地、商業施設等について		
状 況 等	<p>中心市街地の形成については、本市の課題と捉えており、「第1次滝沢市総合計画」において、市役所周辺を対象に、日常的なサービスを提供する商業・業務、行政、医療・社会福祉、教育の各機能の向上や市内の交通結節点としての機能の強化を図るとともに、市民がふれあい、交流するための都市の中心を担う拠点の形成を図ることとしております。</p> <p>現在、市役所周辺の交通結節点環境整備、さらには商業施設等立地のための土地利用計画見直しの協議を行っているところであり、引き続き、魅力ある中心市街地の形成のため、関係機関等と協議調整を進めてまいります。</p>		
件 名	公園の遊具更新、整備について		
状 況 等	<p>現在、市内には192箇所の公園が設置され、滝沢総合公園を除き、民間宅地開発の際に設置された公園及び遊具となります。</p> <p>老朽化などにより修繕・更新が必要な遊具については、自治会の意向を確認しながら更新を進めており、今後におきましても、人口減少や高齢化が進む動向を踏まえながら、利用状況やニーズを把握し、既存の公園をより活用していただけるよう、計画的に遊具等の更新を進めてまいります。</p>		

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	都市整備部	課 名	都市政策課
件 名	市営住宅の設置について		
状 況 等	<p>市営住宅につきましては、現在、市には一本木地区に10棟の市営住宅がありますが、全戸入居済みであり、新たに入居を希望する方へのご要望にはお答えできない状況となっております。市営住宅の設置の手法としては、市による住宅の建設、買い取り、借り上げなどの形態がありますが、いずれも相当の公費を要するものであり、慎重な検討が必要となります。</p> <p>盛岡市近郊の住宅地である本市においては、現在、多様な住宅の供給は充足しており、市営住宅によらずとも、一定のニーズに応じた住宅の確保が可能と捉えており、現在のところは、市営住宅の新規整備の計画はありません。</p> <p>また、市営住宅の設置については、社会情勢や住宅情勢の変化や需要の動向を踏まえて、今後必要に応じて検討してまいります。</p>		
件 名	空き家対策について		
状 況 等	<p>空き家につきましては、市を含めて全国的に年々増加している状況にあり、市では適切に管理されていない空き家の対策や利活用に関する施策を効果的かつ効率的に推進するため、市内空き家実態調査の結果を基に令和3年度に空家等対策計画を策定いたします。</p> <p>その後、市内で適切に管理されていない空き家の所有者に対する措置や利活用に関する施策を進めてまいります。</p>		
件 名	滝沢中央スマートインターチェンジ周辺の交通量について		
状 況 等	<p>滝沢中央スマートインターチェンジは、NEXCO東日本と共同で整備を進め、平成31年4月20日に開通いたしました。開通後は市内外の皆様から広くご利用いただき、利用台数は1日約2,200台(計画交通量)を超えているところです。また、開通後の交通量実態調査の結果、団地開発による人口増加や商業施設開店の影響もあり、周辺道路の総交通量が増加しており、アンケート調査結果では周辺道路の渋滞についてご意見をいただいているところです。</p> <p>市では、引き続き経過観察を行い、各道路管理者や交通管理者との連携強化に努め、状況に応じて交通量や渋滞などの実態調査を実施し、改善策について検討してまいります。</p>		

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	都市整備部	課 名	道路課
-----	-------	-----	-----

件 名	道路の除雪について
状 況 等	<p>市道及び市が管理する法定外公共物(赤線等)について除雪を行っております。</p> <p>○除雪の適切な実施 市道の除雪は早期完了を目標に行っておりますが、降雪量、雪の降り方、地域の状況などにより完了時間は左右されます。そのため、積雪による交通障害が予想される場合には、職員によるパトロールの実施や市内5か所に設置した積雪深センサーのデータ確認、各地区ごとの委託業者の中から班長を定めるなど、地域にあった除雪や適切な出勤判断、初期除雪の徹底に努めております。</p> <p>○除雪の仕上がりや頻度 市内を地区分けし除雪を行っておりますが、地区により降雪状況が異なる場合は 地区毎に出勤を指示する場合がありますため除雪回数に差が出る場合があります。作業員の資質の向上と作業の均一化などを業者とともに一層徹底してまいります。</p> <p>○除雪業者の状況と対応 除雪業者においては、除雪オペレーターの高齢化や人員(担い手)不足、除雪機械の小型化等により除雪能力が低下してきたことに加え、住宅開発などで除雪対象路線は増加しているため負担は増加しています。このような状況をふまえ、市では市民と業者との相互理解の促進と協働除雪の意識醸成を図ってまいります。</p>

件 名	道路の整備について
状 況 等	<p>○歩道の整備促進 新設改良の際に歩道を設置しているほか、小学校などの教育施設周辺から交通安全対策として順次整備を進めております。 なお、歩道を整備する際は段差の少ないバリアフリー構造としております。</p> <p>○道路の新設や改良・改修促進 市総合計画等と整合した箇所や幹線市道について、優先的に進めております。 また、財政等の理由で早期に整備が難しい箇所については部分的な側溝改修や路肩幅等により、歩行者や車両すれ違い空間の確保を図っていきます。</p> <p>○市以外が管理する道路への整備要望 国・県等が管理する道路について、学校や自治会、住民の方々からいただきました意見につきましては、都度情報提供を行い、整備の要望を行っております。</p>

件 名	道路の維持管理について
状 況 等	<p>市道及び市が管理する法定外公共物(赤線等)の維持管理を行っております。</p> <p>○市道維持管理全般 日常的に道路パトロールを行い、即時対応できる簡易な補修はその場で行うなど迅速化を図ってまいりました。しかしながら市道延長は500km以上に及んでおり、全ての状況を短期間に把握することは難しいため、道路を利用される方々の情報提供をお願いします。</p> <p>○計画的な修繕 舗装の全面補修や側溝設置など費用のかさむ工事については、市の修繕計画の中で危険度や緊急性を検討し順次修繕を進めております。</p>

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	都市整備部	課 名	河川課
-----	-------	-----	-----

件 名	大雨災害等に備えた河川や排水路の整備について
状 況 等	<p>滝沢市におきましては、県管理の諸葛川と木賊川分水路、本市管理部分の松森堰用排水路、天池排水路、生出川排水路、笹森山排水路、砂込川上流部、外山排水路中流部まで、市兵衛川中流部まで、金沢川中流部まで、巢子川における部分改修などが完了しております。</p> <p>現在は、小岩井地区における準用河川仁沢瀬川改修事業、大釜地区における雨水排水施設整備事業を集中的に進めており、令和3年度から令和6年度の期間におきましては、仁沢瀬川、松森堰用排水路、巢子川、外山地内排水路及び市兵衛川におきまして、河道の浚渫工事を実施する計画としております。</p> <p>今後も、河道掘削、樹木伐採などの河川の適正な維持管理を含め、改修事業及び下水道事業(雨水)による浸水対策を併せて、効率的に進めてまいります。</p>

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

<b>部 名</b> 上下水道部	<b>課 名</b> 水道総務課
------------------	------------------

<b>件 名</b>	上下水道料金の値下げ。
<b>状 況 等</b>	<p>上下水道事業は、地方公営企業法が適用され、受益者負担の原則による独立採算制を基本に経営されております。</p> <p>上下水道料金は、学識経験者や公募で選出された方々を委員とする滝沢市上下水道事業経営審議会で上下水道事業の経営内容と料金のあり方を審議し、議会の議決を受けて決定されます。水道料金の金額は、水道水をつくってお客様にお届けするための費用と老朽化する水道施設の更新など事業を継続するために必要な施設の整備資金が確保できるよう設定されています。</p> <p>下水道使用料の金額も同様に、汚水処理の費用と下水道施設の更新など、事業を継続するために必要な施設の整備資金が確保できるよう設定されています。</p> <p>岩手県内の水道料金(令和2年10月1日現在)をみますと、一般的に使用者が多いとされる口径20ミリで1か月に17<sup>m</sup>使用した場合、最高は4,477円、最低は2,260円、当市は3,293円で33市町村中、18番目と中位の料金となっております。</p> <p>今後は人口減少による収益の減少が予想されます。将来にわたって安定かつ持続可能な経営となるよう、事業の一層の効率化を図りつつ、適正な料金となるよう定期的に見直しをまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>

<b>件 名</b>	他市町村に比較し、水道料金が大変高すぎます。早急に対応すべき事項と考えます。滝沢に住んでからずっと思い不満に思っています。												
<b>状 況 等</b>	<p>水道事業は、地方公営企業法が適用され、受益者負担の原則による独立採算制を基本に経営されております。</p> <p>水道料金は、学識経験者や公募で選出された方々を委員とする滝沢市上下水道事業経営審議会で水道事業の経営内容と水道料金のあり方を審議し、議会の議決を受けて決定されます。水道料金の金額は、水道水をつくってお客様にお届けするための費用と老朽化する水道施設の更新など事業を継続するために必要な施設の整備資金が確保できるよう設定されています。</p> <p>岩手県内の水道料金(令和2年10月1日現在)をみますと、一般的に使用者が多いとされる口径20ミリで1か月に17<sup>m</sup>使用した場合、最高は4,477円、最低は2,260円、当市は3,293円で33市町村中、18番目と中位の料金となっております。</p> <p>今後は人口減少による水道収益の減少が予想されます。将来にわたって安定かつ持続可能な経営となるよう、事業の一層の効率化を図りつつ、適正な水道料金となるよう定期的に見直しをまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。</p> <p>他の市町村との料金比較については、水道料金の算定条件が異なりますので一概に比較できませんが、参考として、口径20ミリにおいて5<sup>m</sup>、17<sup>m</sup>、25<sup>m</sup>使用した場合の1カ月分の盛岡市との料金比較(令和2年10月1日現在)は次のとおりとなります。</p> <p>1 口径20ミリで5<sup>m</sup>使用した場合の水道使用料(消費税込)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">滝沢市</td> <td style="width: 50%;">盛岡市</td> </tr> <tr> <td>1,445円</td> <td>1,980円</td> </tr> </table> <p>2 口径20ミリで17<sup>m</sup>使用した場合の水道使用料(消費税込)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">滝沢市</td> <td style="width: 50%;">盛岡市</td> </tr> <tr> <td>3,293円</td> <td>3,178円</td> </tr> </table> <p>3 口径20ミリで25<sup>m</sup>使用した場合の水道使用料(消費税込)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">滝沢市</td> <td style="width: 50%;">盛岡市</td> </tr> <tr> <td>4,525円</td> <td>4,650円</td> </tr> </table>	滝沢市	盛岡市	1,445円	1,980円	滝沢市	盛岡市	3,293円	3,178円	滝沢市	盛岡市	4,525円	4,650円
滝沢市	盛岡市												
1,445円	1,980円												
滝沢市	盛岡市												
3,293円	3,178円												
滝沢市	盛岡市												
4,525円	4,650円												

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	上下水道部	課 名	水道整備課
-----	-------	-----	-------

件 名	上下水道も道路もまだ整備されていない場所が多い。
状 況 等	<p>上水道について、給水区域内の場合であれば、水道を必要としている方が、必要な口径で必要な場所までの工事費等を負担してご利用いただいております。なお、私道であれば、埋設される水道管も個人の所有・管理となります。</p> <p>また、給水区域内で公道に面している場合、「未給水地域解消事業における配水管整備要綱及び取扱要領」により、3件以上の既存住宅が給水申し込みすること等を要件に市で公道内の配水管を整備する制度があります。</p>

件 名	とりあえず水がとともまずいのでどうかして欲しいです。
状 況 等	<p>滝沢市の上水道の原水は、平成8年度以降、表流水(河川水)主体から、岩手山麓に豊富に存在する地下水・湧水を主体として浄水しております。</p> <p>これらの地下水・湧水は、水温水質が一年を通じて安定しており、大腸菌等の細菌類も検出されず、おいしい水と評価されており、令和2年度の浄水に対する地下水比率は、98%になると見込まれております。</p> <p>なお、危機管理の観点から、一部浄水場では表流水(河川水)を使い浄水しておりますが、降雨等による水質悪化時は、表流水の取水を停止し、全量を地下水を原水とし浄水しております。</p> <p>また、水道施設については、監視カメラや警備システムを配備し、外部からの侵入を防ぐ対策をとっています。</p> <p>今後も策定した水質検査計画、水安全計画に基づき適正な浄水処理、水質管理を行ってまいります。</p>



## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	上下水道部	課 名	下水道課
件 名	下水道の整備について (住宅地が多くなっている中、古い、昔からの住宅地域の下水道の整備を考えてもらいたい。下水道が整備されなくて困っている 等)		
状 況 等	法律で定められている市街化区域における下水道整備は令和2年度で完了いたします。その他区域については、市街化区域の人口密集度と比較し、効率性及び採算性を勘案しながら整備区域を決定いたします。		

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	教育委員会事務局	課 名	教育総務課
-----	----------	-----	-------

件 名	学校の配置、通学について
状 況 等	<p>市では、県内第1、2位の児童数となっていた鶉飼小学校、滝沢小学校の学校規模適正化を図り、平成31年4月滝沢中央小学校を開校しました。現在、学校の過大規模は解消されていることから、新たな小中学校建設の計画はないところであります。</p> <p>市内全体の小中学校の配置については、子どもたちが生き生きと学習できる、居心地の良い、安心安全な学習環境を築くため、少子化、児童の偏在化を踏まえ中長期的な展望のもとに学校の適正規模や配置について検討することとしております。</p> <p>また、学校の通学距離基準は、小学校4km以内、中学校6km以内とされています。公共交通機関を利用し遠距離通学をしている児童生徒の保護者を対象に、通学費を支給する就学助成制度を設けているところですが、現在のところスクールバスの運行等の予定はありません。</p>

件 名	教育環境の整備(光ファイバー網の整備)について
状 況 等	<p>各学校に光回線は整備済みであり、現在、LAN配線にて校内ネットワーク環境(無線)の整備を進めているところです。また、令和2年度内に児童生徒用として、1人1台のタブレットを整備します。</p>

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	教育委員会	課 名	学校教育指導課
-----	-------	-----	---------

件 名	児童生徒の登下校の安全確保について
状 況 等	<p>児童生徒の登下校につきましては、各学校における通学距離、道路環境等の状況に応じて安全を第一に考え、各学校で決定しております。</p> <p>また、登下校の安全確保の取組として、市内では310名のスクールガードの皆様により児童生徒の登下校の様子を見守っていただき、防犯と交通安全に努めていただいている状況となっておりますので、学校の取組にご理解とご協力を賜りますよう、お願いいたします。</p> <p>なお、お子様が体調不良等により、徒歩での登下校が困難であり、車での送迎を希望される場合には、学校にご相談いただきますようお願いいたします。</p>

件 名	小学校、中学校などの教育について
状 況 等	<p>滝沢市内各小中学校においては、各校、地域の特色を生かした教育活動を実施しているところであります。</p> <p>小中学校の連携により、9年間を見据えた学力向上の研究を行う「滝沢市小・中学校ジョイントアップスクール事業」の実施、市内に設置されている盛岡大学・岩手県立大学との連携による児童生徒の学習のつまずきの解消や学習意欲の向上を図る「ラーニング・サポーター・プロジェクト事業」の実施、総合的な学習の時間を活用し、地域の郷土芸能や地域産業を学ぶ郷土学習やキャリア教育の実施など、滝沢市の特色を生かした取り組みを行っております。</p> <p>ご不明な点がございましたら、教育委員会担当課までご連絡願います。</p>

件 名	中学生のための海外留学制度や海外研修制度について
状 況 等	<p>本市の海外派遣事業は平成7年度から平成19年度まで実施しており、オーストラリア、アメリカ合衆国、フィリピン等に市内各中学校代表生徒の派遣を行ってまいりました。海外派遣事業については、一部の児童生徒が参加していたことから、できるだけ多くの児童生徒に還元する事業への転換を図るため、平成19年度をもって終了しております。</p> <p>現在は、外国語指導助手3名の配置や市内中学校英語暗唱大会などを開催するなど学習環境の充実を図っているところであります。各校で行われる国際理解教育の充実とともに市国際交流協会が実施している国際交流フェスティバルや国立岩手山青年の家、交流の家の主催で行われる国際交流事業などへの参加も進めながら、グローバル化に適應できる人材の育成を図ってまいりたいと考えております。</p>

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	教育委員会事務局	課 名	生涯学習スポーツ課
件 名	子どものスポーツへの取り組みについて		
状 況 等	市内にはスポーツ小年団が10種目19団体活動している状況です。また、公益財団法人滝沢市体育協会では、生涯スポーツの推進や協調性・社会性の育成、体力向上などを目指し、総合型地域スポーツクラブ「チャグチャグスポーツクラブ」を開設し、児童から高齢者まで幅広い世代を対象に15種目のスポーツに取り組む機会の提供を行っているところであります。		
件 名	体育施設への照明設置について		
状 況 等	市の屋外体育施設において現在照明を設置している施設は、総合公園野球場、学校では滝沢第二中学校・滝沢南中学校となっております。体育施設への照明の新たな設置は難しいものと考えております。		
件 名	滝沢総合公園陸上競技場の整備について		
状 況 等	滝沢総合公園陸上競技場は、平成28年度までは4種公認の施設として公認記録が取れる施設となっていました。希望協いわた国体に合わせてインフィールド芝整備を実施した後、公認期間満了となりました。公認継続には毎年多額の費用がかかることや、記録計測を行う大会が年1度程度との状況を踏まえて、公認継続を行わないこととしたところです。		
件 名	人工芝のサッカー場、ドーム型の野球場などの整備について。		
状 況 等	平成28年度開催の希望協いわた国体に合わせて、滝沢総合公園陸上競技場のインフィールド芝整備を行っております。近隣市町村でも天然芝のフィールドは少なくプロサッカーチーム「いわてグルージャ盛岡」の練習にも活用いただき、好評を得ているところです。今後も市民の皆様が気持ちよく利用できるよう、適正な芝生の管理を行います。 滝沢総合公園野球場、大釜運動場、小岩井運動場と3箇所の野球場等を管理・運営しておりますが、雨天時、冬期間は利用できないのが実態となっております。しかしながら、ドーム球場の整備には莫大な予算が必要となり実現は難しいと考えます。		

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	教育委員会事務局	課 名	文化振興課
件 名	伝統芸能の継承に力をいれるべきだと考える。例えば、地域の幼稚園や小学校の授業に取り入れる等。		
状 況 等	伝統芸能の継承については市としても重要と考え、郷土芸能まつりの開催や各種イベントの出演を支援しております。また、小学校の授業で伝統芸能を取り上げている学校もあります。今後も機会をとらえて、次世代への継承に力をいれてまいります。		
件 名	文化、芸術の推進		
状 況 等	市は芸術祭の開催や広報・ホームページなどでの情報発信等、市民の文化芸術活動を支援しています。また、郷土芸能まつりの開催等、伝統文化全般にわたる保護と伝承、後継者育成を支援しています。市民が文化芸術に触れる機会を創出し、文化芸術振興を図ってまいります。		
件 名	芸術に対する環境を整えてほしい。(音楽を聴くホール、美術品を展示するためのスペース) 中途半端なものはない。		
状 況 等	本市にあるビッグルーフ滝沢や滝沢ふるさと交流館のほか、県の施設や近隣の文化施設を広域的に活用、連携しながら、市民の文化芸術活動を支援してまいります。		

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	企画総務部	課 名	総務課
-----	-------	-----	-----

件 名	職員の対応が悪い
状 況 等	市民からの苦情やご意見を真摯に受け止め、お客様の立場になったより良い対応ができるよう、接遇研修を充実させるなど今後も職員指導を行ってまいります。

令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	企画総務部	課 名	企画政策課
-----	-------	-----	-------

件 名	総合計画について(活気のあるまちづくりが必要、子どもから高齢者までが安心して暮らせるまちづくりが必要)
状 況 等	<p>滝沢市では、平成27年度から令和4年度までを期間として、第1次滝沢市総合計画に基づく市政運営を進めており、計画期間内の目標として「幸福感を育む環境づくりの基盤づくり」を掲げています。その中で市民の皆様が主体的に活動を行うための「地域別計画」と、行政がそれをサポートするための「市域全体計画」に分け、幸福感を育む環境づくりの基盤づくりを進めております。</p> <p>計画の策定にあたっては、滝沢市民の皆様が何に対して幸福を感じるのかという調査を行い、その結果として、「健康」「人とのつながり」「所得収入」が滝沢市民の幸福実感に重要な三大要素として捉えました。これは、新しい施設を作り続けるような、モノによる充足ではなく、人とのつながりに代表されるココロの充足による幸福の方が重要視されているということを表しています。</p> <p>ご意見に頂いたとおり、活気のあるまちづくりや安心して暮らせるまちづくりは、幸福感の創出につながるものであり、そのためには市民の皆様がつながりながら主体的に地域を創っていくこと、すなわち人とのつながりが必要不可欠であり、このことは非常に重要な点であると認識しています。これに関連し、第1次滝沢市総合計画においては、人とのつながりを通じた幸福感を育む行動の一例として、「幸福実感一覧表」を策定し、日々の生活から地域づくりまで、様々な場面において幸福感を育む一助として活用いただいております。</p> <p>市民の皆様におかれましては、第1次滝沢市総合計画の趣旨をご理解いただき、それぞれの地域別計画や幸福実感一覧表を参考として頂きながら、家族や仲間、そして地域といった「人とのつながり」を通じ、幸せを育んでいただきたいと思います。</p> <p>今後も引き続き、第1次滝沢市総合計画に基づく市政の推進にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。</p>

件 名	後期基本計画について(多様性が重要、滝沢市を市民が誇れるようになりたい等)
状 況 等	<p>第1次滝沢市総合計画に基づき、4年のスパンでどのようにまちづくりを進めていくか、という計画として、平成31年4月に後期基本計画をスタートさせています。</p> <p>その中では、人々の考え方や価値観、ライフスタイル等の多様性を重視し、市民の皆さんがそれぞれ自分自身の幸せにつながるものとしての「健康づくり」と、また滝沢市に住むことだけでなく、この地に愛着を持った若者を増やすこととしての「若者の心の定住」の2つを基本戦略として掲げ、市政推進の一つの方向性としています。</p> <p>特にも若者定住に関しましては、定住の前段階として、滝沢市に通学している学生等を主なターゲットとしながら、滝沢市のヒト・モノ・コトという地域資源を知ってもらう機会の創出が必要であると考えています。このことを通じ、地域を知っていく中で、滝沢市に対する愛着や誇りに思えるものなどを見つけ出し、「滝沢のヒト・モノ・コトに対する愛着」を持ったうえで、自分の活躍したい場所へはばたくことで、「心の定住」や関係人口化等、様々な関係性の構築につなげてまいりたいと考えております。</p>

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	企画総務部	課 名	企画政策課
件 名	広域連携・地方創生について(市になっても盛岡のベッドタウンだけのイメージしかない、他の市町村にはない滝沢市の特色が必要ではないか、若い世代に向けた取り組みも必要ではないか 等)		
状 況 等	<p>滝沢市は、その地理的及び文化的要件により古くから盛岡市との密接な関係にあり、現在でも市民の通勤・通学をはじめ、事業活動においても一体性を有しています。盛岡市をはじめとする「盛岡広域都市圏」を構成する近隣の8市町と、一体的な発展と住民福祉の向上に努めており、これからもあらゆる分野で連携・協力してまいります。</p> <p>また、本市の特徴である「大学・研究機関等の集積」を活かし、盛岡広域都市圏におけるICT関連産業の拠点形成、研究学園都市としての役割を担う“まち”を目指して、高等教育機関との連携等をはじめ、様々な取組を進めています。</p> <p>令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた大学生等の学業の継続を応援するため、給付金やアルバイト雇用等を通じた各種支援策を行っており、学生を中心とした若者世代をターゲットとした取り組みも推進しているところです。</p>		
件 名	アンケートについて(アンケートの目的について、アンケートの項目が多い、わかりづらい)		
状 況 等	<p>アンケートの調査内容は、第1次滝沢市総合計画基本構想(平成27年度から令和4年度までの8年間)に掲げている「幸福実感一覧表」と「暮らしやすさ一覧表」をもとに設定しています。設問内容は、各年代や生活の各場面で幸福感を育むための行動例などについて、基本構想策定時に多くの市民の皆様が参加した検討において、滝沢の将来像を実現するための想いを表したものであるとして考えられたものです。アンケート調査により、市民の皆様が普段の生活でどのようなことを感じ、考えていらっしゃるかを定点観測し、基本構想に掲げる「幸福感を育む環境づくり」の進捗状況を測り分析することで、市民主体による地域づくりや市行政運営に活かしていくことを目的としています。アンケート項目が多く、市民の皆様にはお手数をおかけいたしますが、アンケート調査の目的をご理解いただき、引き続きご協力いただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、アンケート調査の結果については、広報たきざわ及び市ホームページで公表しておりますので、ご確認ください。</p>		
件 名	中心地ばかりに施設がある等、地域に偏りがあるのではないか。		
状 況 等	<p>第1次滝沢市総合計画において、市役所周辺を対象に、日常的なサービスを提供する商業・業務、行政、社会福祉、教育等の各機能の向上や市内の交通結節点としての機能の強化を図るとともに、市民がふれあい、交流するための都市の中心を担う拠点の形成を図ることとしております。</p> <p>現在、市役所周辺の交通結節点環境整備、さらには商業施設等立地のための土地利用計画見直しの協議を行っているところであり、引き続き魅力ある中心市街地形成のため、関係機関等と協議調整を進めてまいります。</p>		



令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	企画総務部	課 名	企画政策課
件 名	県立大付近に老若男女問わず利用できる複合型施設(入浴施設、スケボーパーク、買い物施設、公園施設等)が欲しい。		
状 況 等	県立大学周辺は、都市計画県大周辺地区地区計画により、建築物等の用途の制限があることから、ご希望のあった複合型施設の誘導は難しい状況にあります。		
件 名	広い敷地を生かした自然の中で学べる施設や場づくり。コロナ禍で子供たちの行き場がない中で広さを利点とした施設。		
状 況 等	市内においては、国や県の土地が多く、広大な土地の利用は難しい他、土地利用の規制等から広大な土地を利用した施設についても難しい状況にあります。なお、既存施設としては、市内にある独立行政法人国立青少年教育振興機構国立岩手山青少年交流の家がありますので、広大な敷地と大自然の中で学べる環境として利用いただければと思います。		
件 名	広報・ホームページなどこれからの情報発信の在り方について		
状 況 等	<p>現在、広報たきざわは、1日と15日に毎月2回発行しております。1日号は20ページを基本とし、市政の方針や事業など市民の皆様にお知らせしたい情報や興味を引く内容を掲載しています。15日号は8ページを基本とし、翌月の世代別カレンダーを折り込んだ「お知らせ版」となっています。限られた紙面を有効に活用し、皆さんに見やすく、興味を持っていただける内容を盛り込めるようより一層努めてまいります。</p> <p>また、ホームページやSNSなど、即時性のある情報発信に力を入れている自治体が増えてきております。しかしながら、全ての方がパソコンやスマホを持っているわけではなく、従来通り紙媒体である広報や回覧での情報発信の必要性も認識しております。</p> <p>現状では、広報たきざわをご覧いただいている割合は80%弱ではありますが、世代間に20%程の差が見られます。このことより、紙媒体とSNS等を組み合わせながら、全世代に様々な媒体でアプローチできるよう、情報発信の在り方を検討してまいります。</p>		
件 名	イベントの周知について		
状 況 等	<p>広報たきざわや回覧で周知をしているイベントは、市で主催・共催するものが主になります。広報作成のスケジュールの関係で掲載することができなかったイベント等は、インスタグラムなどのSNSで周知しております。広報やホームページ、SNS等様々な媒体から必要な情報を分かりやすく迅速に伝えられるよう努めてまいります。</p>		
件 名	その他ご意見などについて		
状 況 等	<p>市の将来へ向けた多くのご提言やご意見をいただき、ありがとうございます。すべて滝沢市に住んでいる皆様からの貴重な「想い」と考えております。</p> <p>いただいたご提言やご意見は職員間で共有し、滝沢市がより住みよいところとなるよう、引き続き取り組んでまいります。</p>		

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	企画総務部	課 名	財務課
-----	-------	-----	-----

件 名	財政運営について
状 況 等	<p>市の財政運営については、持続可能で安定的な財政環境を保つため、歳入歳出両面からの見直しを徹底的に行い、可能な限り歳入の拡大と歳出の削減を図るように努めております。</p> <p>予算編成にあたっては、市税を始めとする限られた財源の有効活用に努めつつ、第1次滝沢市総合計画の市域全体計画の適切な展開のために市民ニーズを反映させ、事業の優先度を勘案した無駄のない予算になっていると考えておりますが、社会環境の変化を受けて事務事業について不断の見直しを行い、さらなる予算の適正化に努めてまいります。</p>

## 令和2年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	企画総務部	課 名	税務課
-----	-------	-----	-----

件 名	税負担の軽減について
状 況 等	<p>個人住民税や固定資産税、軽自動車税などの市税につきましては、地方税法で定められた標準的な税率で皆様に負担していただいております。標準税率を下回る税率での課税は様々な制限がかかる場合があるため、現行制度においては難しい状況となっております。</p> <p>今後も適正な課税を心掛けてまいりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。</p>